

町並み月報

■平成20年12月25日（第53号）

■発行責任者 澤口輝禪

小浜西組町並み協議会 第4回 役員会報告

日 時：平成20年11月27日（木）午後7時30分～午後9時30分

場 所：町並み保存資料館 1階

出席者：役員20名のうち、出席10名、委任状5名により、会が成立

1、会長挨拶の後、議長に吹田理事が就き、議事進行

2、市からの報告

① 伝建物登録物件の土地、修景建物とその土地の減税措置について条例案を作成中で、12月市議会に上程する予定。可決されると、登録建物の土地、修景建物とその建物のある土地については減税となる。決定次第、月報などで詳細を知らせる。

*登録建物については、法によって免税となる。

② 道路舗装の種類について、実物写真で説明。（アスファルト舗装以外の砂利舗装、碎石舗装、カラー舗装など）

3、議 題

(1) 基本計画策定委員会結果報告

大島洋一委員長より報告…策定委員10名で数回の会議を開いてきた。一応結果が出たので、今回、「小浜西組マスタープラン（案）」として提出する。（内容説明）
今後は協議会役員会に任せたい。

大島委員長の説明を受けて、今後役員会でさらに検討して、町並み協議会の基本計画としてまとめることです承。

(2) のぼり旗の件報告

20本製作。重伝建地区内に立てた。

(3) 歴史街道絵図改定経過報告

12月始めに完成した。

(4) 建築検討委員会の報告

11月18日開催された。修理、修景、許可基準の手引きを作成する予定。

(5) 各区での協議会委員会報告

大原区、浅間区、鹿島区、香取区、貴船区の理事より会議状況の報告があった。

(6) 重伝建選定記念イベントの件

準備状況について報告。

(7) 各区自主防災組織設置促進の件

すでに自主防災組織を作っている区は、大原、香取、貴船、白鳥区。他の区でも是非作ってもらいたい。

(8) 火災報知器配布の件

無償配布を受けた「住宅用火災警報器100個」については、高齢者世帯数に応じて各区に配布し、各区での取り付けは区長さんをお願いした。

消火器は8区に3本ずつ配布し、町並み保存資料館に1本配布した。

(9) 「若狭の語り部」さんとの意見交換会

11月17日に交換会を開催。

4、閉会の辞 石田副会長

重伝建選定記念イベント

講演会とまちづくりワークショップを終えて

12月6日・福祉センターにて開催

桂田 定樹（男山区）

12月6日は、若狭路に初雪が舞う寒い日でした。

重伝建選定記念イベント「あなたとわたしができること～まちづくりワークショップ～」は、その寒い中、第一部は講演会、第二部はワークショップという二段構えで行われました。

第一部では講師に阪南大学の吉兼秀夫教授をお招きし、重伝建選定後のまちづ



会長挨拶

くりについてお話をいただきました。先生は全国60以上の重伝建地区を行脚しておられるとのことで、観光の話、エコミュージアムの話など、先進的な事例を挙げながら、内容の濃いお話をしていただきました。

中でも心に残ったのは次の二つのお言葉です。

「重伝建地区の中でみやげものなど、商



講演会の様子

売をしている人はたくさんおられるが、その人達が朝出勤してくる町（つまり普段住んでいない町）は衰退が著しい。」そして「今日は小浜に到着してから西組を歩いて見せていただいたが、住民が住んでいる気配が感じられない建物が多い。」

さすが百戦錬磨の強者です。見事に西組が直面する課題を見抜いておられるなと感服いたしました。

終了後の質疑応答も活発に行われ、たいへん勉強になった講演でした。

* * * * *

講演終了後、第二部まちづくりワークショップに移りました。図らずも講師の先生も御指摘の「重伝建がどうこうというより、人口の流出が止まらない今の西組自体をどうしていけばよいか。」という大問題に対処すべく、ワークショップを企画しました。

まず、6～7人のグループを7班つくり、そのグループの中で西組のい

いところ、悪いところを付箋に書き出しました。意見を整理する中で、西組という町に対する全ての思いを吸い上げるという手法です。

今回のイベントには女性や若い方々の参加が多く、どのグループもそれぞれに熱のこもった意見交換がなされていました。

問題点として多かったのはやはり道のことや生活環境のことでした。反対に人間関係や子どもの情操の部分などには評価が高いということが見て取れました。

途中からはアルコールやつまみも出て、飲むほどに口もほぐれ、奇抜なアイデアや独特の着眼点など、ワークショップならではの幅広い意見収集、意見交換ができました。

普段このような話をしないため、とても新鮮に感じました。このような場をもっと設けて、自分たちが住んでいる町をよくしていくための議論をたくさんすべきだなあと改めて実感したワークショップとなりました。



ワークショップ 班別発表



ワークショップの様子

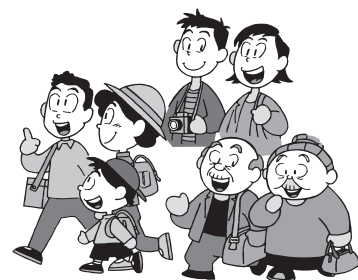
「若狭の語り部」からみた小浜西部地区 ～意見交換会にて～

去る11月17日（月）、町並み保存資料館にて「若狭の語り部」の方々との意見交換会があり、語り部からは4名、協議会から6名の出席で開催されました。

「ちりとてちん」の放送終了後ガイドへの申し込みが殺到して、去年は4千人近かったのが、今年は10月の段階ですでに倍の8千人を超えており、人気の様子が伺えます。

今回、この西部地区を何度となく歩いている語り部さんから、参考になるご意見を沢山いただきました。貴重なご意見の一部をここに掲載します。

- ・ 現在語り部の登録者数は39名、実動は20名であるが、観光客の増加によりガイドの絶対数が足りない状況である。実感のこもった話をしていただけられることも考えられますので、西部地区のみなさんにもガイドのお手伝いをしてほしいと思っている。
- ・ 観光客約20名に対しガイド1人がついて回っている。道が細い事など交通や安全の面で危険に感じる時がある。
- ・ 道しるべが少ない。
- ・ 駐車場がない。現在観光バスは旧香取交番所の空きスペースを利用しているが、その誘導も語り部がしている。結構な労働なので、週末などは助っ人がほしいくらいに思っている。
- ・ 地域に住んでいる人にももう少し関心を持ってもらえるといいなと思う。
- ・ 旧小浜小学校から発掘された遺跡などを展示したりする場を設け、後瀬山を含めた歴史的街道をアピールするとよい。
- ・ 中高年の方が多いので、自動販売機や案内パンフレットがあいてある、無料休憩場所があるとよい。
- ・ 町並みは綺麗だが、もう少し整備すると訪れた人の印象もよくなるのではないか。（今は三丁町から常高寺をメインに説明をしている）
- ・ 町の人たちがやさしく教えてくれる時がある。特にうれしいと感じる。



小浜西組町並み協議会ではこれらを参考にしよりよい町づくりができるように思っております。

小浜西組町並み協議会

連絡先：浅間1（澤口 輝禅） Tel53-2327